

川の思ひ出

茂野 貞母

○あたしは、三年前ぐらゐに、栃木県の那珂^な川に行きました。そこには「やな」という川の中に足場を組み、木や竹でその状の台を作った物がありました。そのこは、上流側に傾いていて、上流側は水の中で下流側は陸に上ります。川の水は、そのこを通って流れるけれど、上流から流れでまた魚はそのこ

の上に取り上げられるので魚を取ることができません。

やなは、川の中にあるので、そこに行くには、橋をわたらないと行けません。その橋は、細い竹や木で作られていて、歩くたびにパキパキなるので折れたらどうしようと思ひ下を見ると流れが急だ。たのびてもこれだけたびます。

でも、その日は天気がわるくてすこしだけ魚が上にとこきたけれど取ることは、むき

ませんでした。かのごとりにある食堂でア
コの塩焼きを食べました。

わたしは、いままで魚を取るには、あみお
りやおなびごとると思ひました。でも、ほ
かにもいろいろな工夫をして魚を取るため
の方ほうがあるということを知りました。今度
また、やなに行つた時は、自分で魚を取つて
その取つた魚を塩焼にして食べたいです。

同じなが川でも栃木県の那珂川は、とても
きれいで色々な魚がたくさんいます。けれど

も足立区の中川は、ゴミがうかんびいて、と
てもきたないです。今はとてもきたない中川
だけれど、いつか地面が見えるくらいきれいにな
つて、魚とりや水あそびなどができる川にな
つてほしいです。川をきれいにするためには
どうしたらいいのかわから勉強します。